

あ な た と の 絆

広報

春日井

平成30年2月1日

2018年 No.1628

Kasugai Public Relations



特集

地域包括ケアの推進

～笑顔の花を咲かせて、いつまでもあなたらしく



地域包括ケアの推進

～笑顔の花を咲かせて、いつまでもあなたらしく



問い合わせ 地域福祉課(☎85-6187)

自分が高齢になったらどんな暮らしをしたいか考えたことはありますか。孫が産まれたとき、介護や医療が必要になったときなど、さまざまなステージがありますが、いつまでも笑顔で暮らしたいと思いませんか。今回は、いつまでも自分らしく暮らせるように、ライフステージに応じた地域包括ケアの取り組みを紹介します。

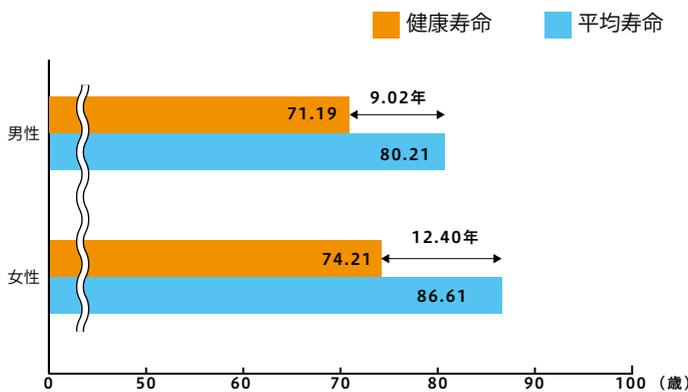
65歳からのライフステージを考える

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことを「健康寿命」といいます。ほとんどの人で健康寿命と平均寿命には差があり、その差である「不健康な期間」は、男性9.02年、女性12.40年でした(図表1)。人生80年時代に、65歳からのライフステージを考える必要があります。

また、市では、高齢者のみの世帯が年々増加しています(図表2)。高齢者夫婦や一人暮らしの高齢者が、助けを求めることができる相手がすぐ近くにいる環境がますます求められます。

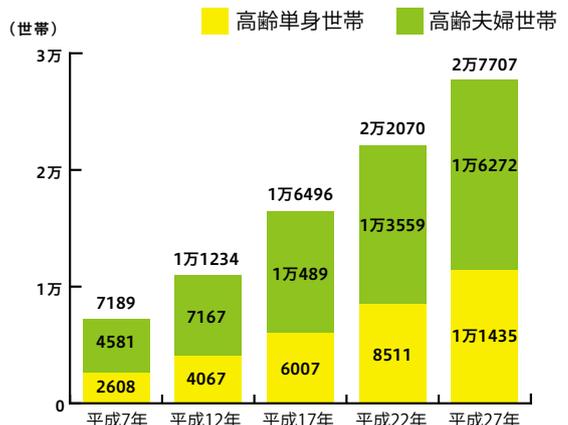
住み慣れた地域で最期まで安心して暮らすためには、在宅医療・介護による支援や、地域全体で高齢者を支える取り組みが必要となります。

図表1 平均寿命と健康寿命の差



平成26年10月1日「厚生労働省厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会・健康日本21(第二次)推進専門委員会」公表資料より

図表2 高齢者(※)のみの世帯の推移



国勢調査より

(※)65歳以上の人口

自分らしく暮らすための支援体制

「地域包括ケアシステム」という言葉を目にしたり、耳にしたりしたことはありますか。地域包括ケアシステムとは、人生の最期まで自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援の各分野が連携して支援する体制のことです。

では、自分らしい暮らしとは何でしょうか。一人の男性が「自分らしい暮らし」を送る様子を見てみましょう。

春日井 健介さん

市内在住の男性。仕事が忙しく、地域活動にはあまり参加してこなかった。現在は定年退職し、趣味などを楽んでいる。家族と近所を散歩しているとき、すれ違ってあいさつできる相手が少ないことに気が付き、不安を感じる。



Stage 01

65歳 地域デビュー

町内会行事や地域活動に参加してみる。参加した公園の花壇作りで近所に住んでいる高齢者が認知症だと知り、どう対応すれば良いのか悩む。



認知症地域支援推進員

認知症地域支援推進員は、平成30年度から市社会福祉協議会に配置し、認知症の人やその家族が自分らしく暮らせるよう、地域活動を支援します。

また、認知症が身近な病気であることを知り、地域で認知症の人を見守る支援者となる認知症サポーター養成講座の開催や、おれんじプラスカフェ（認知症カフェ）を支援します。



大人から子どもまでを対象に講座を開催しています



近所のおれんじプラスカフェで開催された認知症サポーター養成講座を受講し、認知症についての理解を深め、地域で認知症の高齢者を支えるにはどうすれば良いかを話し合った。

また、かえるネットサポーター^(※)に登録し、徘徊（はいかい）高齢者の情報を受信したときは、外出時に気に掛けるようになった。

(※)メールを受信し、徘徊高齢者の検索に可能な範囲で協力する人

Stage 02

70歳 運動クラブを立ち上げる



友人との会話で、介護の話が増える。健康診断の結果も思わしくなく、いつまでも健康であるために、地域の活動で知り合った仲間と一緒に運動クラブに参加してみる。参加した運動クラブは、楽しかったが自宅から遠いため、近所の公民館で運動クラブが始められないかと考える。



生活支援コーディネーター

生活支援コーディネーターは、平成29年度から市社会福祉協議会に配置し、地域活動を支援しています。

問い合わせ

市社会福祉協議会 地域活動支援課(☎85-4321)



一人でも多くの人が笑顔になれるように

私たちは、近所で気軽に集える場所をつくりたいなど、地域で何か困った事があったときにアドバイスをしたり、一緒に活動を盛り上げたりして、地域での支え合い活動をサポートしています。実際の業務では、まず地域の人の思いや地域の状況を確認し、参加する人が楽しいと思えて、輝けるような方法を地域の人と一緒に考え、つくり上げていきます。相談があつてから活動するまで半年から1年かかることも。サポート方法が決まっていなため、自由な提案ができる反面、その地域に合った活動を模索するのが難しく、地域の人の思いと違ってしまい、提案が実現しないこともあり

ます。しかし、最初はなかなか話をしてくれなかった地域の人も、何回か会うにつれて頼りにしてくれたり、親しみを持って笑顔で接してくれたりしたときはやりがいを感じます。

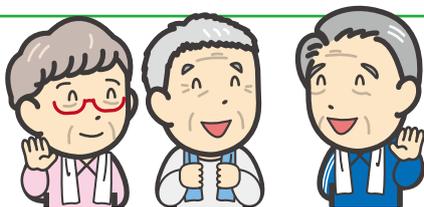
今後は、これまでに得た経験を新たな支え合い活動に生かし、一人でも多くの人々の笑顔を見ることができるよう活動をしていきたいです。



運動クラブでの活動の様子

<介護サービス情報公表システム>

地域での支え合い活動などの生活支援サービスや介護事業所、地域包括支援センターなどの情報を検索できます。詳しくは、ホームページ(<http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/>)をご覧ください。



活動内容や参加者募集方法など、仲間や生活支援コーディネーターと考え、自分たちで運動クラブを始めた。

運動クラブが近所の高齢者の集いの場となり、知り合いが増えた。

Stage 03

75歳 認知症と疑われる



運動クラブを続けながら、健やかな生活を送っているが、約束したことを忘れてたり物をなくしたりすることが多くなる。心配をした家族が相談できる場所を探し始める。



地域包括支援センター

まずは気軽に相談を

私たちは、主に高齢者やその家族が、何か困った事があったときに相談に乗ったり、解決方法の提案などを行っています。信頼関係を築くことが大切で、最初は本音で話してくれなかった人とも、何度も粘り強く話し合いを重ね、生活が改善し喜んでもらえると、やりがいを感じます。

今後は、今まで以上に地域の特性を把握して、誰もが安心して、笑顔で生活できる地域づくりに貢献していきたいです。どんな小さな悩みでも結構です。まずは気軽に相談に来てください。

※詳しくは7ページを見てください。



地域包括支援センター第2春緑苑
田屋沙希さん

<介護ラブレター>

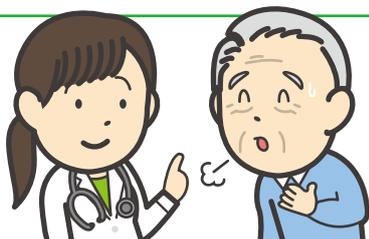
介護の現場で活躍する職員の声や仕事の魅力をSNSで発信する「介護ラブレター」で、地域包括支援センターの職員を紹介しています。詳しくは市ホームページ、Facebook、Instagramを見てください。

問い合わせ 介護・高齢福祉課 (☎85-6921)



認知症初期集中支援チーム

平成30年度から市社会福祉協議会に設置する基幹型地域包括支援センターに、医療と介護の専門職と認知症サポート医から成る認知症初期集中支援チームを配置し、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築します。



家族が地域包括支援センターに相談し、認知症専門の相談員と面談した結果、専門医の受診を勧められた。

検査の結果、認知症ではなかったので一安心。今までと同じように運動クラブを続ける他、認知症予防の活動にも参加し、自宅での生活を続ける。





Stage 04

80歳 入院する

脳梗塞で入院する。半身まひの後遺症があり、在宅生活に不安はあるが、家族や仲間がいる住み慣れた地域で過ごしたいと願う。



在宅医療・介護サポートセンター

在宅医療・介護サポートセンターは、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、平成30年度から設置します。地域の医療・介護の関係者が連携して、在宅医療と介護を一体的に提供できる連携体制を推進します。

また、医療・介護の関係者の連携をより強化するため、事例検討や研修会を開催していきます。



研修会の様子



家族の協力の他、訪問看護や在宅医療、介護保険のサービスを利用し、自宅で生活を続ける。自分でできないこともあるが、運動クラブの知り合いや孫が会いに来てくれたりと、家族と一緒に自宅で、のんびり穏やかに過ごしている。

「自分らしく暮らす」とは、何でしょう。

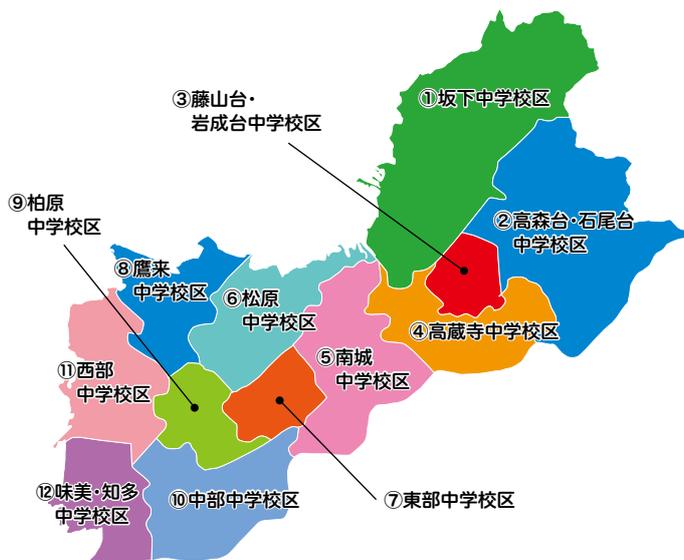
いつまでも健康でいたい、仲間と活動を続けたい、認知症になっても外出したい、医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で過ごしたい。そんな希望がかなえられたとき、「自分らしく暮らす」は実現に近づくのではないのでしょうか。

地域包括ケアは、全ての人が人生の最期まで「自分らしく」を続けるための支援です。この男性のように、医療や介護の支援が必要となっても「自分らしく」過ごせるよう、医療や介護が連携する仕組みづくりや、高齢者の相談窓口である地域包括支援センターの機能強化に取り組み、一人一人が自分らしい笑顔でいられる地域をつくっていきます。

地域包括支援センターの担当地域と名称が変わります

平成30年度から、より地域に密着した地域包括支援センターとするため、中学校区を単位として地区を再編し、現行の10か所から12か所へと増強します。

各地域包括支援センターが中核となり、民生委員や区・町内会・自治会、地区社会福祉協議会などと連携し、高齢者の皆さんが自分らしく暮らすことができる地域づくりを進めていきます。また、地域包括支援センターの総合調整や後方支援を行う基幹型地域包括支援センターを総合福祉センターに設置します。



No.	名称	住所	電話番号	運営法人
①	地域包括支援センター坂下	神屋町1306-1 特別養護老人ホーム あさひが丘内	93-1314	(福)春生会
②	地域包括支援センター高森台・石尾台	廻間町703-1 特別養護老人ホーム 春緑苑内	88-5829	(福)恩賜財団愛知県同胞援護会
③	地域包括支援センター藤山台・岩成台	藤山台1-1 グルッポふじとう(高蔵寺 まなびと交流センター)内	92-7600	(医)喜峰会
④	地域包括支援センター高蔵寺	出川町2-8-10	37-0780	(医)陽和会
⑤	地域包括支援センター南城	出川町8-19-11	51-1840	(株)総合福祉サービス J・You
⑥	地域包括支援センター松原	東野町3-15-1 春日井整形外科内	93-6066	(医)三仁会
⑦	地域包括支援センター東部	浅山町1-2-61 総合福祉センター内	87-5377	(福)市社会福祉協議会
⑧	地域包括支援センター鷹来	桃山町5079-1 特別養護老人ホーム グレイスフル春日井内	89-2391	(福)サン・ビジョン
⑨	地域包括支援センター柏原	柏原町5-387 市医師会 在宅療養センター内	89-3027	(一社)市医師会
⑩	地域包括支援センター中部	下津町500 特別養護老人ホーム 第2春緑苑内	56-9166	(福)恩賜財団愛知県同胞援護会
⑪	地域包括支援センター西部	牛山町3195-1 介護老人福祉施設 第2グレイスフル春日井内	32-1117	(福)サン・ビジョン
⑫	地域包括支援センター味美・知多	若草通1-12 勝川医院内	33-8236	(医)勝川医院

家族で地震に備えよう

今後30年以内に南海トラフを震源とした大地震が起こる確率は70%以上といわれており、東日本大震災と同等のマグニチュード9クラスの巨大地震が発生する可能性があります。巨大地震に備えて、家族でできることを考えてみましょう。

問い合わせ 市民安全課 (☎85-6072)



家族会議で確認・準備

地震はいつ発生するか分かりません。大きな地震が起きたとき、あなた自身はもちろん、あなたの家族は無事でいられるでしょうか。被害を最小限に抑えるために、日頃から家族で話し合い、いざというときに備えましょう。



✓ 家族が避難する場所は…

地震は、家族が一緒にいるときに発生するとは限りません。家族が離れ離れになってしまう可能性も考え、集合場所となる避難先をあらかじめ決めておくことが大切です。

市では、小学校などの40か所を指定避難所、ふれあいセンターなどの公共施設16か所を福祉避難所として指定しています。詳しくは、市ホームページを見てください。

✓ 家庭の備蓄品をチェック

最低3日分、できれば1週間分の食料や飲料水を準備し、年に1回以上、備蓄品の期限や保存状態を点検しましょう。また、家族に合わせた備蓄品も用意しておくといいでしょう。



3日分の食料・飲料水（1人分）など備蓄品の例

例えば…



女性向け

生理用品、おりものシート、下着、スキンケア用品、メイク落としシートなど

子ども向け

粉ミルク、哺乳瓶、アレルギー対応の非常食、紙おむつ、だっこひもなど



高齢者向け

やわらかくて食べやすいもの、常備薬、老眼鏡、入れ歯、補聴器など

✓ 緊急時の安否確認・連絡方法

災害時は、被災地への連絡がつながりにくなります。安否の確認などには、災害用伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板(web171)、メールなどを活用しましょう。あらかじめ使い方などを確認しておくことが大切です。

忘れてイナイ(171)? 災害伝言171と覚えてください



※171にダイヤル後、ガイダンスに従ってください。

自転車も、 交通ルールと マナーを守って

思いも寄らない場所で交通事故が発生しています。自分の身を守る安全行動を身に付けましょう。

問い合わせ 交通対策課(☎85-6053)

自転車事故による負傷者数が増加

交通事故全体のうちの約2割が自転車乗用中の事故による死傷者となっています。また市内では、昨年の自転車事故による負傷者数が、一昨年と比較し92人増加しました。

自転車は車両の仲間です。交通ルールとマナーを守って、安全に利用しましょう。

主な交通ルール

- ・飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
- ・夜間はライトを点灯
- ・交差点での信号遵守と一時停止・安全確認

※詳しくは、県警察ホームページで確認してください。



自転車を運転するときは、ヘルメットを着用しましょう

昨年、県内で起きた自転車乗用中の事故によって亡くなった人は、全員がヘルメットを着用していませんでした。また、そのうち約8割の人は、主に頭部を負傷しています。自転車を運転するときは、万が一の事故に備え、自転車用ヘルメットを着用しましょう。



自転車の損害賠償保険加入の確認を

最近、自転車事故で相手を死傷させた場合に、高額な賠償を命じる判決が報告されています。日常的な自転車の点検整備や、乗り方のルール・マナーの確認はもちろん、万が一に備え、自転車向けの保険や自動車保険・火災保険の特約など、損害賠償責任を補償する保険の加入を家族で確認してみましょう。

高額賠償例

損害賠償額 **約9500万円**

自転車に乗った小学生が歩行中の女性と正面衝突し、女性に意識障がいが残った。



お知らせ



土地区画整理組合の入札参加資格申請

- 対** 熊野桜佐、西部第一、西部第二の各土地区画整理組合(平成30・31年度の入札参加資格申請)
- 申** 2月5日(月)～3月2日(金)〈土・日曜日、祝休日を除く〉午前9時30分～正午、午後1時～4時に、所定の様式(各組合事務所に用意)に記入し、各組合事務所へ
- 問い合わせ**：熊野桜佐土地区画整理組合(☎56-4077)、西部第一土地区画整理組合(☎37-3833)、西部第二土地区画整理組合(☎32-2755)

会議の公開

- ◆教育委員会定例会の公開
教育総務課(☎85-6436)
時 2月5日(月)午後1時30分から
場 市役所教育委員会室 **定** 10人(先着順)
申 当日午後1時から、教育総務課へ
- ◆高蔵寺リ・ニュータウン推進会議の公開
ニュータウン創生課(☎85-6048)
時 2月7日(水)午後1時30分から
場 東部市民センター **定** 10人(先着順)
- ◆放課後教室運営委員会の公開
学校教育課(☎85-6442)
時 2月8日(木)午前10時から
場 市役所教育委員会室
定 10人(先着順)
- ◆障がい者施策推進協議会・地域自立支援協議会合同会議の公開
障がい福祉課(☎85-6186)
時 2月19日(月)午後2時から
場 総合福祉センター **定** 10人(先着順)
申 2月5日(月)から、障がい福祉課へ
- ◆地域包括支援センター運営等協議会の公開
地域福祉課(☎85-6187)
時 2月23日(金)午後2時から
場 市役所301・302会議室
定 10人(先着順)
- ◆廃棄物減量等推進審議会の公開
ごみ減量推進課(☎85-6222)
時 3月6日(火)午後3時から
場 文化フォーラム春日井
定 10人(先着順)

障がいに関する出張相談

基幹相談支援センターしゃきょう(☎84-5300)

- 時** 2月21日(水)午前9時～正午
- 場** 西部ふれあいセンター

市街地再開発事業の事業計画の縦覧 都市整備課(☎85-6318)

- 事業名**：JR春日井駅南東地区第一種市街地再開発事業
- 組合名**：JR春日井駅南東地区市街地再開発組合
- 時** 月～金曜日(祝休日、年末年始を除く)午前8時30分～午後5時15分

催し



市民公開講座「知っていますか? 膵臓(すいぞう)がん」 市民病院管理課(☎57-0057)

- 時** 2月10日(土)正午～午後3時30分 ※正午～午後1時30分は健康チェック(血糖、血圧、酸素飽和度、骨密度)、医師への相談、薬についての相談を実施
- 場** 東部市民センター
- 内** 講演「膵臓を知って、膵臓がんを知ろう」内視鏡センター部長・高田博樹、「消化器がんの放射線療法」放射線治療科医長・小崎桂 ※講演の間にゴスペル歌唱を実施
- 定** 500人(当日先着順)

絵本作家 あべ弘士展

かすがい市民文化財団(☎85-6868)

- 時** 2月24日(土)～3月18日(日)〈月曜日を除く〉
午前10時～午後5時
※入場は4時30分まで
- 場** 文化フォーラム春日井 
- 内** 「あらしのよるに」で知られる絵本作家あべ弘士の絵本原画展。2月24日(土)・25日(日)は作家が来館して工作体験やトークイベントを開催
- 入場料**：大人500円、高校生300円(中学生以下無料)

フォレストコンサートin春日井

かすがい市民文化財団(☎85-6868)

- 時** 5月26日(土)午後2時開演
- 場** 市民会館
- 入場料**：一般5500円(全席指定、未就学児入場不可)
- 先行予約**：2月21日(水)午前10時～23日(金)午後5時に、ホームページ(<http://www.kasugai-bunka.jp>)へ
- 入場券**：2月24日(土)から、文化フォーラム春日井、東部市民センター、チケットぴあで販売
※電話・インターネット予約もあり

神田松之丞独演会 かすがい市民文化財団(☎85-6868)

テレビや雑誌で話題沸騰中。今一番チケットの入手が難しいといわれる講談師が春日井に初登場です。



時 4月22日(日)午後2時開演

場 文化フォーラム春日井

費 入場料2800円(全席自由、未就学児入場不可、Pi Pi会員は300円引き)

※青少年鑑賞サポートプログラム対象事業(小中高生優待価格500円。詳しくは、ホームページ(<http://www.kasugai-bunka.jp>)をご覧ください)

先行予約: 2月15日(木)午前10時～17日(土)午後5時に、ホームページへ

入場券: 2月18日(日)から、文化フォーラム春日井、東部市民センター、チケットぴあで販売
※電話・インターネット予約もあり

募集



福祉応援券が利用できる店舗 障がい福祉課(☎85-6186)

8月から、食料品や飲食店で福祉応援券を利用できるようになります(酒類を除く)。それに伴い、登録店舗を募集します。

対 市内に店舗・事業所があり、食料品を扱う事業者か飲食店

申 4月13日(金)までに、所定の申請書(障がい福祉課、市ホームページに用意)に必要書類を添えて、直接か郵送で、〒486-8686春日井市障がい福祉課へ ※詳しくは、市ホームページをご覧ください。



あ〜とふるマイタウンの講師派遣希望 団体を募集 (文化・生涯学習課 ☎85-6079)

学校や町内会、福祉施設などへ芸術家や専門家を講師として派遣します。皆さんの集まる身近な場所で、文化や芸術を気軽に鑑賞・体験してください。

鑑賞型プログラム(コンサート・公演形式)



オペラへの扉
子どもでも楽しめるオペラなどを解説を聞きながら鑑賞する

和・洋楽器あんさんぶる
楽器本来の音色を大切に和楽器と洋楽器のアンサンブルで世界の名曲を奏でる

津軽三味線の響き
迫力ある津軽民謡をはじめ、親しみのある童謡やジャズなどを幅広く演奏する



落語を楽しもう!
高座や出囃子(でばやし)などを用い、会場を寄席に見立て落語を楽しむ



音楽で遊んじゃおう
クラシック音楽を中心に名曲を聴いたり、みんなが知っている曲と一緒に歌ったりする



First time 日本舞踊へようこそ!
三味線音楽の他、童謡や日本のポピュラーな曲などで舞い上げる日本舞踊を鑑賞する

体験型プログラム(ワークショップ形式)

雅印(がいん)を作ろう～篆刻(てんこく)に挑戦
石の印材にえとの絵や自分の名前を彫る

面白いで「書」
楽しんで、書く人の感性を引き出す「書」を体験する

大きな筆で大きな文字を書こう
手のひらよりも大きな筆で、1畳ほどもある紙に文字を書く



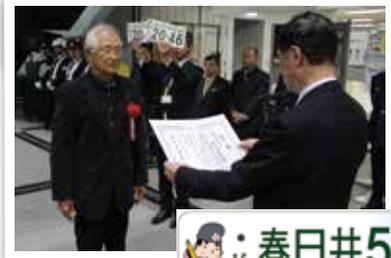
応募要件: 市内に会場を用意できる団体 ※詳しくは市ホームページをご覧ください。
申 2月28日(水)までに、所定の用紙(文化・生涯学習課、市ホームページ、市の主な公共施設に用意)に記入し、必要書類を添えて、直接か郵送で、〒486-8686春日井市文化・生涯学習課へ

写真で見る かすがい

12/1
(金)

市民が作ったデザインが ナンバーに (市役所)

昨年、図柄入りナンバープレートのデザインを募集し、189点の作品が集まりました。その中から市民投票や有識者による選考を行い、優秀作品のデザイン考案者を表彰しました。図柄入りナンバープレートは、10月から交付される予定です。



デザイン(案)

12/21
(木)

小児患者に元気を与えました (市民病院)

中日ドラゴンズの祖父江大輔投手が入院生活を送っている子どもたちを激励するため、市民病院を訪問しました。

祖父江投手は小児病棟の病室を訪ね、写真撮影に応じたり、サインボールを手渡したりしていました。子どもたちは間近で見るプロ野球選手にびっくりしながらも、一足早いクリスマスプレゼントを受け取ると大喜び。祖父江投手から元気をもらっていました。



12/27 若い力 全国の舞台へ気合 (水) (市役所)

春日井ラグビースクールジュニアに所属する中学生の皆さんが、全国ジュニア・ラグビーフットボール大会に愛知県スクール代表として出場することが決まり、報告に来てくれました。

選手たちは「優勝を目指す」など、力強く大会への意気込みを語ってくれました。

結果は5位という成績でしたが、優勝した大阪府中学校代表に善戦するなど、代表としてはつらつとしたプレーを見せました。



1/6 安全・安心な1年を (土) (サンフロッグ春日井駐車場)

年頭に当たり消防職員・団員や参観者など約 2000 人が参加した消防出初式。

式では、幼年消防クラブによる「防火の誓い」の唱和や、消防部隊・救助部隊による訓練披露、1日消防隊長の「大きな災害が起こらず、幸せに暮らせますように」とのメッセージから始まる一斉放水などが行われ、火災や災害のない1年を願いました。



1/7 爽やかに走り 新年スタート (日) (総合体育館)

今年で 36 回目となった「新春春日井マラソン大会」。市内外から 8694 人もランナーが参加しました。春日井広報大使の宮本さんが司会を務め、松村さんが 3 km ジョギングの部のスターター兼ランナーとして出場するなど、大会を盛り上げてくれました。

真剣に優勝や完走を目指したり、家族や友人と楽しみながら走ったり。皆さんそれぞれのペースで、爽やかな汗を流しました。

戌 (いぬ) 年に思う

今年が戌年です。犬といえば忠犬ハチ公が思い出されます。朝夕に主人を送迎することを日課にしていたハチ公は、主人が亡くなった後も渋谷駅で主人を待ち続けていました。南極で1年間越冬したタロとジロも有名です。また、安産祈願を戌の日に行う風習もあります。そして、日常的にも犬と一緒に散歩される姿を多く見掛けます。

このように犬は私たちに運氣をもたらし、十二支の中でも私たちに一番身近で愛されているのではないのでしょうか。

ところで戌年の出来事では、1946年には日本国憲法が公布され、1958年には東京タワーが完成し、現在の天皇陛下が皇太子殿下の時に婚約が整っています。1970年は佐藤栄作内閣の長期政権の真ただ中であり、大阪で万国博覧会が開催されています。一方、1994年は細川内閣、羽田内閣、村山内閣と変遷した年でもありました。

ところで、戌の字は「戈(ほこ)」と「一」を合わせた漢字とされ、刃物で作物を刈り取り、収穫して一つにまとめるという意味だそうです。

春日井市は今年、市制75周年を迎えます。そして多くの事業の芽が出てきています。「市民の皆さんの声」という水や肥料をしっかりと施し、大きく成長させ収穫できるような1年にしたいと思っております。

創 春日井
2018 想



市長 伊藤 太

ゲンバ男子

「ゲンバ男子」は、中小企業の現場で活躍している若手技術者を広く紹介することで、製造業のイメージアップを図り、若い年代に対して技術者として働くことへの関心を高めてもらうことを目的としています。

市ホームページでは、現在 68 人を紹介しています。

ゲンバ男子 春日井市 検索



(株)来光工業

村瀬 健太さん(31歳)

加工する金属材料を工作機械に固定するための生爪を各種製造する、全国的にも数少ない専門メーカーの(株)来光工業。工作機械を操作して、金属切削加工を行っている村瀬さん。前職はものづくりとは無縁の仕事をしていましたが、職人仕事に憧れてこの道に進んだ。入社1年目の今は基礎作業が多いが、今後は自分で一からプログラムを作って技術を持った先輩になりたいと語る。小学生の頃から家庭菜園をしており、飼っているウサギ2匹の餌である牧草も育てている。

(株)丸菱製作所

石飛 翔さん(24歳)

国内外で稼動するエレベーターの構造物を、大型設備を用いて板金加工から組み立てまで一貫製造する(株)丸菱製作所。入社5年目の石飛さんは、五面加工機のオペレーターとして複雑形状の金属部品を加工している。最近では新入社員教育も任されており、機械の操作を教える表情は真剣そのもの。仕事のポリシーは責任から逃げないこと。難しいプログラムにも手打ち入力挑戦した、という経験からも責任感の強さがうかがえる。趣味は古本屋巡り。気に入る本を探し、休日は古本屋を渡り歩くこともあるという。



春日井サポテンサミット ～春日井サポテン next10 キックオフイベント

問い合わせ 春日井商工会議所 (☎ 81 - 4141)

市への交流人口を増やすため、市のサポテン産業の取り組みを全国へ発信するイベントを行います。

時 3月5日(月)・6日(火) **場** 春日井商工会議所

内 中部大学によるサポテン研究、春日井サポテンプロジェクトの取り組み紹介、基調講演パネルディスカッション、サポテン見学バスツアー

定 100人(先着順)

申 2月1日(木)から、春日井商工会議所ホームページ(<http://www.kcci.or.jp/>)内の申し込みフォームへ



時 とき 場 場所 内 内容 講 講師 対 対象 定 定員 費 費用 持 持ち物 申 申し込み

休日・平日夜間急病診療所

場所	総合保健医療センター(鷹来町1) ☎84-3060
----	---------------------------

診療科目	診療時間		
	平日夜間	土曜日	日・祝休日
内科・小児科	21:00～23:30	18:00～21:00	9:00～12:00、 13:00～17:00、 18:00～21:00
外科	————	————	18:00～21:00
歯科	————	————	9:00～12:00

受け付けは、いずれも診療開始30分前から終了30分前まで

- 保険証、受給者証、現金などが必要です。
- 薬は原則1日分しか出ませんので、翌日以降にかかりつけ医か専門医を受診してください。
- 夜間の子どもの急病時、受診を迷った場合は、県小児救急電話相談(毎日19:00～翌8:00、☎#8000(短縮番号)か052-962-9900)へ
- かかりつけ医や休日・平日夜間急病診療所などで受診できない場合や受診先が分からない場合は、県救急医療情報センター(☎81-1133)へ

日曜日・平日時間外の市役所業務

業務を行っている課	業務内容	月日	時間
市民課 ☎85-6136	戸籍届、住民異動届、印鑑登録、住民票などの証明書の発行	2/4、25	8:30～12:00、 13:00～17:00
市民税課 ☎85-6093	所得、課税、非課税、扶養、事業所の各証明書の発行		
保険医療年金課 ☎85-6156	国民健康保険加入・喪失の届け出	2/25	9:00～12:00、 13:00～16:00
収納課 ☎85-6111	納税相談・納付		

毎週水曜日(祝休日、年末年始を除く)は、収納課19:00まで、市民課19:30まで上記の業務を行っています。取り扱い業務など詳しくは問い合わせてください。

市税等の納期限

- ・固定資産税・都市計画税第4期
 - ・国民健康保険税第9期
 - ・介護保険料第8期
 - ・後期高齢者医療保険料第7期
- 納期限▶2月28日(水)
最寄りの金融機関やコンビニエンスストア、インターネットの「Yahoo! 公金支払い」で納付してください。

火災情報 ☎0180-995-999

まちの動き

人口	31万1608人	(-100)
世帯数	13万4465世帯	(+1228)
平成30年1月1日現在()内は前年同月比		
救急件数	1281件	(13801件)
火災発生件数	7件	(90件)
交通事故死亡者数	0人	(4人)
平成29年12月()内は1月からの累計		

水道修繕

公道

平日 8:30～17:15

水道工務課 ☎85-6420

土・日曜日、祝休日、夜間

市役所守衛室 ☎81-5111

宅地内(有料)

管工事業協同組合(☎83-8288)
か市指定給水装置工事業者
※アパート、マンションなどは、事前に管理者へ

不二ガ丘(ふじがおか)

明治時代、市内では町村合併が二十八件あり、二十二年に出川、松本、神明、庄名、白山の各村が合併して、不二村が誕生しました。現在の「不二ガ丘」と「不二町」はこの村名に由来します。

当時、合併の際の命名で一番多かったのは神社や神名で、四分の一を占めており、国家神道の時代の反映と思われる。

「不二」自体は「唯一無二」という縁起の良い名前ですが、江戸時代の絵図では、出川村に「ふじ社」、神明村に「富士山」の二つの「ふじ」があります。これらは村のミニ富士山である古墳や山にあり、富士山祭神の「コノハナサクヤヒメ」が祭られました。合併時の一般の発想からすると、不二村は、日本一の山・富士山信仰に由来する縁起の良い名前とみるのが自然と思われる。

不二ガ丘は、かつては現在より十倍以上高い「丘」でしたが、昭和三十年代、名神高速道路や住宅地建設の際に、土を採取して平坦な土地となりました。

春日井郷土史研究会 高橋

春日井の地名物語

春日井の地名物語



93